鹿児島市立西紫原中学校　令和４年度鹿児島学習定着度調査結果（令和５年１月１７日・１８日実施）

確かな学力向上を目指して　～鹿児島学習定着度調査結果から～

１月17日と18日に，１・２年生を対象に鹿児島学習定着度調査が実施されました。本校と県の通過率（％）は下の表の通りです。（県の通過率は，令和５年２月20日現在の速報値）

教科	国語		社会		数学		理科		英語	
	本校	県	**本校**	県	**本校**	県	**本校**	県	**本校**	県
１年	**73.3**	70.4	**73.4**	68.4	**73.5**	70.9	**70.8**	63.2	**78.4**	75.7
２年	**78.3**	71.0	**61.4**	55.2	**79.3**	72.5	**66.7**	62.5	**78.0**	67.8

この調査は設定通過率を７割として問題が作成されています。本校の生徒はその設定通過率を大きく上回る教科が多く，また県の通過率と比較しても良い結果が出ています。

今後，学力をさらに向上させるために，基礎的・基本的事項の定着に加え，既習の知識や技能，資料から読み取った情報，友達との対話を通して習得した内容等を活用してじっくりと思考し，自分の考えを表現する場面を各教科の授業に計画的に位置づけていきたいと考えています。

また，本調査の成果と課題を踏まえて，各教科では次のような取組（紙面の関係で一部を掲載）を行っていきます。

	１　　年	２　　年
国語	新聞記事を活用し，記事と併せてグラフや図を見て内容を理解し問題を解く課題に取り組む。思考力・表現力を問うWEB問題を積極的に活用し，資料や図を見て解く問題に慣れるようにする。	授業中に出てきた語句に関連する言葉を確認するなど，語彙を増やす活動を取り入れる。また，自分の考えを書く際に，根拠を明確に示したり，根拠となる事実と自分の意見を分けて表現したりすることを意識づける
社会	ワークなどの問題演習を反復し，基礎的・基本的内容を確実に定着させる。また，資料から情報を読み取り，考えたことを他人と交流し，考えを深める活動をより多く設定する。	複数のグラフから情報を読み取り，考えたことや気づいたことを文章でまとめる活動や，様々な種類の資料を用いて文化の特色について調べ，文章でまとめる活動を行う。思考力・表現力を問うWEB問題にも取り組む。
数学	読解力をつけるため，長文や会話文形式の問題などに取り組むとともに，ペアやグループ学習の中で生徒同士で説明し合う表現活動を設定する。また，思考力・表現力を問うWEB問題の演習を行う。	長文問題を取り扱い，問題文の読み取り方を学習し，長文問題に慣れさせる。ペア・グループ学習やICT活用を通して，相手に説明する力を身に付けさせる。また，家庭での課題への取組を通して学習内容を定着させる。
理科	生徒が活動する場面を増やし，能動的な学習になるような授業づくりを行う。また，自分たちの実験結果から情報を整理し，正しい知識を踏まえ自分の言葉で考察したことを説明できるようにする。	実験・観察，ICT機器の活用を行い，興味・関心を高め，五感に印象づける指導に取り組む。自分たちの実験結果から情報を整理・考察し，発表やグループ協議，文章による説明を行うなど，表現力・思考力の育成を図る。
英語	基本的な英文や対話文を数多く習得し，実際の場面に合わせて活用し表現する練習を行う。各単元の表現活動の目標が達成できるように「Speak&Write」等を活用し，まとまりのある文章での表現活動ができるように支援する。	SVOなど基本的な英語の語順や過去形，三単現などの語形変化について，確実な定着を図る。既習の文法について，３年間を通して色々なアプローチで練習を繰り返し，定着させる。また，教科書本文以外の初見の英文を速読し，内容を理解する練習を定期的に行う。